

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら吉祥寺教室		
○保護者評価実施期間	令和6年10月31日		令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和6年11月20日		令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置に余裕があり、緊急性や想定外の場面にも柔軟に対応することが出来る (当日の利用希望、児童の状態に合った個別対応等)	国が定めた配置基準より1~2名多い配置となっております。基本は集団活動を主とした療育をおこなっていますがその日の児童の状態によって個別の対応が必要と感じればすぐに対応できるようにこのような配置となっております。普段の集団活動にも一人一人に寄り添うことができ、手厚く支援できています。	専門的実施加算の導入より、集団活動の中での個別をより深く支援できるように取り組めるよう考えています。
2	お出かけや買い物学習などの課外活動が多く公共の場での過ごし方やルールを守る事で社会性をはぐくむことが出来る	土日祝や長期休暇にはお出かけや買い物学習など課外学習を取り入れるようにしています。子どもの来所の目的の1つになればという目的はもちろん、課外活動を通して社会性を身につける事や集団行動でのルールを守る事を目的としています。また毎度担当職員を決めることで児童に飽きないよう工夫をもちたり、反省点を考え次回の課外活動に生かしています。	課外活動の幅を広げ、外食やショッピングモール等大型施設への外出も検討していきたい。課外活動を通しての問題点を分析し、解決することで課外活動の視野を広げていけるよう取り組んでいる。
3	調理実習や季節の行事等のイベントが多く役割分担や季節の行事を知る事で人間関係や完成形成をはぐくむことが出来る	集団活動として毎月調理実習を行い、手順の理解や役割分担を行いながら人間関係をはぐくめるよう取り組んでいます。また、偏食傾向の児童に対しても少しでも偏食が改善できるよう食育を行いながら調理を促しています。季節の行事ではその行事の理解を楽しみながら深めるよう制作や調理実習など様々な活動を通して学んでいます。	現在の状況ですでに十分充実していると考える。イベントに関しては保護者参加型のイベントも検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者対保護者、職員対保護者等、保護者との関わりや交流が少ない	新型コロナウイルスの影響で実施できておらず、終息してからもいまだ実行できていない。	実行委員会等を設立し、保護者会を定期的に行うしていきたい。また日頃の活動内容を見学できるような取り組みも行っていきたい。
2	下校時刻が遅い児童は来所してからすぐ活動時間となるため、滞在時間も短く、自由時間・宿題の時間が取れずに利用が終わってしまう	下校時刻になってもスムーズに送迎者に乗れなかったり、その後も送迎があったりとスムーズに来所出来ない場合もある。	下校時刻から来所時間までの時間がよりスムーズになるよう学校との連携や、送迎ルートを生かすなどする。来所時間が短くても充実したと受け取れるような活動を考える。
3	低学年の児童が多く、活動内容が低学年の児童でも理解しやすい内容になっているため高学年の児童に対しては物足りなく感じてしまうときもある	集団活動のため全児童が取り組めるよう考えると、どうしても低学年に合わせた活動内容になってしまう。その活動内容に対し不満をもち落ち着いて活動に参加できない高学年も少なくはない。	活動内容を2グループに分けたり、工程のレベルを変えたりと工夫する必要がある。また高学年には役割を与えるなどし他と違った目的で取り組めるよう支援をおこなう。